



2015年11月17日(火)

小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル 4F

TEL : 058-264-8858 FAX : 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル 6F

TEL : 052-222-1600 FAX : 052-222-1611

Email : info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

目標達成のリーダーシップ

目標管理制度では、設定した目標を達成するためのリーダーシップのとり方が重視されますが、ここでは、どのような目標であっても普遍的に適用できるリーダーシップのあり方について述べます。

目標達成へのベクトル合わせ

目標達成に関わるメンバーが、意欲を高めて取り組むためには、全員が集中できる目標達成時の姿を鮮明にし、意識のベクトルをその一点に合わせなければなりません。

そのファシリテーションの方法を実務的に例示すると以下の通りです。

- ① 参加者総数が10～30名程度の場合、担当専門分野別等2～6名単位のグループに分けてファシリテーションを行なう。
- ② 各グループで、目標達成時の姿（成果物の具体的イメージ）を描き、ありありと可視化する（模造紙などに描く）
- ③ 全グループが描いた成果物のイメージを全員に発表する。
- ④ 発表後、グループ別に他グループへの質問点整理、3分間ミーティング（最も質問したい1グループに絞るのがコツ）
- ⑤ 各グループの代表者から質問（全グループの質問を出してもらおう）
- ⑥ 質問に対する各グループの回答
- ⑦ 成果物のイメージがひとつにまとまるまで、複数の成果イメージの相違点を整

理、質疑応答を繰り返して統合し、合意形成する（合意形成には衆目評価法を活用すると納得性が高まる）

以上の①～⑦の方法で、全員が達成を目指す成果物の姿が浮き彫りになり、質問、討議に参加したことで、目標そのものが鮮明になり、相互の協力の必要性の理解と同時に是非とも達成したい、という意欲が高まって、ベクトル合わせが出来ます。

目標達成プロセス設計と一致協力

前項の作業に引き続いて、

- ① 目標達成プロセスで必要な作業をリストアップし、協働作業・分担作業に区分して、処理日数等時間見積りを行なう。
- ② 作業を1年間のなかで順序付け、時間的位置付けを行なう。
- ③ 上記①②の検討結果を可視化（模造紙、またはICTで共有）して、スケジュールリングし、リーダー・メンバーがいつでも見られ、気付いたことを記載できるようにする。

このように、成果物の姿を明確化することが、達成プロセスの的確化と相互協力につながり、目標達成を確実化します。



目標達成にはベクトル合わせ！